

日本臨床検査専門医会 2025 年度 第 1 回理事会議事録

開催日時：2025 年 4 月 26 日（土曜日）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：日本臨床検査専門医会事務局・ZOOM による Web 会議

出席者：（現地出席）

ベ谷直人理事長、山田俊幸副理事長、田部陽子、福地邦彦、鯉渕晴美、松下一之 各常任理事、
菊池春人監事

（Web 出席）村上正巳（庶務担当）、増田亜希子（会計担当）、尾崎敬、幸村近
各常任理事

藤井聡、植木重治、浅井さとみ、山田鉄也、北中明、橋口照人 各理事

欠席者：山崎正晴理事、東條尚子監事

事務局：大和田有美子

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、的確な意見表明ができることが確認されたため、定刻、ベ谷理事長は議長となり、開会を宣し、議事に入った。途中、藤井理事、橋口理事が退出したが、それ以外は音声途切れることもなく、つつがなく議事は進行した。

<報告事項>

1. 各種委員会報告（前回理事会以降）

1) 情報・出版委員会

福地委員長より、添付資料 1 に基づき報告があった。

JACLaP NEWS 次号は、第 72 回日本臨床検査医学会学術集会大会長・大西宏明先生の巻頭言を掲載予定であり、原稿を依頼済である。その他、委員会報告、事務局報告、総会報告、理事選挙報告、会員の声（合格者より）などを掲載予定である。Lab CP 43 巻 1 号を編集中であり、第 71 回日本臨床検査医学会学術集会中に開催された総会講演会、共催セミナー、全国検査部長・技師長会議を掲載予定である。共催セミナー、全国検査部長・技師長会議については日本臨床検査医学会では文章化の予定がないことを大西理事長に確認済である。

Lab CP 43 巻 2 号は第 4 回年次大会の内容を掲載予定である。大会長から演者への依頼をお願いしたいとの発言があった。ラボ担当ページは資料のとおり引き続き掲載予定である。2025～2026 年度の企画は出居真由美先生が主幹を務めていたが、以降は交代予定である。

JACLaP WIRE は東條先生より情報提供を受けた新規収載項目について発信しており、現在 284 号を準備中である。

2) 教育研修委員会

鯉渕委員長より、添付資料 2 に基づき報告があった。

2025 年度教育セミナーはオンデマンド配信形式で開催予定である。臨床検査専門医会および臨床検査医学会ウェブサイトに参加募集要項を 4 月 1 日に掲載済であり、現時点で 16 名の申込がある。

3) 資格審査・規定改定委員会

田部委員長より、添付資料 3 に基づき報告があった。

謝金・旅費規程の改定について委員会審議を行い、本理事会に審議事項として提出する。また、前回理事会以降、5 名の新入会員を審査し、全員承認、理事長へ承認依頼をした。

山田副理事長より新入会員の所属について質問があり、田部委員長は本会議中に調べて報告すると回答した。

4) 広報・ネットワーク運営委員会

尾崎委員長より、添付資料 4 に基づき報告があった。

「こども霞が関見学デー」に今年も参加予定である。参加医師については臨床検査医学会松下弘道先生に協力依頼をし、最終的に 5～10 名、専門医会会員を中心に広報委員会イベント部門が選定する。10 月の JACLaS EXPO にも参加予定であり、千葉先生（日本臨床検査医学会担当）と打ち合わせ中である。11 月には、「つなぎイベント」に今年も参加予定であり、キャンペーングッズを作成する。イベント参加中はホームページアクセス数も増加しており、専門医会の周知につながっている。イベント開催時は専攻医の参加協力を依頼予定であり、協力した専攻医には参加証を発行し、専攻医プログラム単位として認められる。「レジデントノート 検査の Tips!」は 2 か月後に掲載終了予定であり、日本臨床検査医学会広報委員会に引き継がれる。新企画については次期委員会に委ねる。ネットワーク BBS は十分な効果が得られていないため、今後の運用について検討していく予定である。また、マイページが開設されたことも報告された。

ベ谷理事長より、ネットワーク BBS はマイページに移行されるのかとの質問があり、尾崎委員長は、マイページは個人情報確認が中心であり、BBS は複数人でメッセージを交換するものであるため別であると説明した。

5) 渉外委員会

幸村委員長より、資料 5 に基づき報告があった。まず、第 42 回振興セミナーは 7 月 18 日、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにて開催予定である。テーマは「医療 DX」とし、立場の異なる 3 名の講師を招き、講演および総合討論を行う予定である。次に、全国検査と健康展については、昨年同様、日本臨床検査医学会に派遣医師募集を依頼予定である。

なお、振興セミナーの司会は 1 名を松下一之常任理事とし、もう 1 名は 5 月社員総会以降に決定する新理事長とする予定である。

6) 保険点数・データシステム委員会

松下委員長より、資料はなかったが報告があった。

令和 8 年度診療報酬改定に向け、臨床検査専門医会・臨床検査医学会・振興協議会が合同で意見を調整している。臨床検査専門医会から既収載 7 件、臨床検査医学会から新規 1 件・既収載 20 件が提出されている。提案書作成は委員で分担し、段取りを共有した。今後内保連で提案数は絞られる見込みであるが、増点を目指す。

2. 第 4 回年次大会準備状況

幸村大会長より、添付資料 6 に基づき報告があった。会場準備は順調に進んでおり、広告も多く集まった。抄録は印刷準備を進めており、連休明けに発送予定である。未登録の先生には参加登録を依頼した。

プログラムは北海道の臨床検査専門医を中心に構成し、懇親会も開催予定である。

3. 第 72 回日本臨床検査医学会学術集會中行事

山田副理事長より、添付資料に基づき報告があった。臨時社員総会後の講演会について、東洋大学早坂聡久先生に依頼済みであり、「2040 年に向けた医療・福祉の課題と展望」を演題とする予定である。本講演は専門医共通講習 B「医療福祉制度 1 単位」を申請中である。共催シンポジウムでは「関連領域の専門医制度に学ぶ」とし、各関連学会から 1 名ずつ出席予定である。

ここで、田部委員長より新入会員の所属・卒後経歴・専門医資格の有無について追加報告があった。

<審議事項>

第一号議案 2024 年度決算・事業報告の承認

増田会計担当常任理事より財務報告があり、予算差異や赤字の要因が説明された。村上庶務担当常任理事より事業報告がなされ、議長が議場に諮ったところ、いずれも満場一致で承認された。監査についても菊池監事より報告があり、問題なしとされた。

第二号議案 社員総会の招集

5 月の第 4 回年次大会時に定時社員総会を開催し、2024 年度事業報告・決算承認および 2025～26 年度新役員承認を目的とすることが説明され、承認された。

第三号議案 謝金・旅費規程の改定

田部委員長より改定案が示され、議長が議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第四号議案 次回理事会開催について

次回理事会は 5 月の年次大会初日、札幌で開催することが確認された。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので、議長は閉会を宣した。

以上、本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2025 年 10 月 20 日

理事長 ㇔谷 直人

2025 年 10 月 24 日

監 事 菊池 春人